

# 医療用使い捨てゴム手袋に関する意識調査

－ A 棟 6 階南病棟泌尿器科入院患者 32 名、  
看護婦 17 名にアンケート調査を行って－

A 棟 6 階南病棟

○石 濱 華 奈 芦 原 由加里  
澤 井 伸 代 吉 村 明 子  
坂 本 秀 子

## 1. はじめに

私達が日常業務を行う中で、必要だと認識してまたは習慣で、医療用使い捨てゴム手袋（以後手袋とする）を使用し、患者に接する機会がある。陰部ケアを行う際に患者より「汚いことさして悪いな」「手袋つけてや」といった言葉が聞かれたり、手袋を使用せずに足浴を行ったところ、「前は手袋つけていたから気を遣わせたかと思った」という言葉が聞かれたことがあった。

日常的に使用することが多くなっている手袋を看護婦が患者に使用することに関して、患者はどのように思っているのかと考えた。そこで、

- 1) 看護婦の手袋使用時と、患者の手袋を使用される時の意識の違いはあるか。
- 2) 患者はケアによって、手袋を使用する事を希望したり、希望しなかったりするのではないか。またそれはどのようなケアか。
- 3) 看護婦は手袋をどういったケアの時に使用するのかとその理由。

以上 1) 2) 3) を明確にすることを目的に、患者・看護婦に対して当泌尿器科病棟でよく行われる処置やケアに対して意識調査を行った。

## 2. 方法

調査期間：2001 年 9 月 4 日から 9 月 17 日まで。

調査方法：無記名任意参加のアンケート調査（図 1, 2）。

看護婦、患者ともに各自に配布、記入後詰所に設置した回収箱に入れてもらう。

対 象：看護婦－A 棟六階南病棟に勤務し、調査研究にインフォームドコンセントできている、年齢 20～40 代、平均年齢 29.8 歳の看護婦 19 名。

患者－A 棟六階南病棟泌尿器科に一週間以上入院しており、調査研究にインフォームドコンセントできている患者 37 名。

年齢 40～70 代、平均年齢 59.1 歳の男性 23 名。

年齢 20～70 代、平均年齢 54.4 歳の女性 9 名。

### 3. 結果

- 1) アンケート回収率は看護婦 19 名中 17 名回収で 89%、患者 37 名中 32 名回収で 86%であった。
- 2) 看護婦は摘便・陰部洗浄・浣腸などで手袋をよく使用することが分かった (図3)。
- 3) 患者は検温・ひげ剃り・洗髪の際で、看護婦に手袋を使用してほしくないと考えていた (図4)。それらのケアで看護婦は、手袋を使用したことがない・ほとんどないの割合が70%以上と高いことが分かった (図5)。
- 4) 患者は排尿処理・オムツ交換・浣腸の際で、看護婦に手袋を使用してほしいと考えていた (図6)。それらのケアで看護婦は、手袋を常にまたはよく使用する割合が、上位3つは65%以上と高いことが分かった (図7)。
- 5) 手袋を使用する理由は、看護婦では看護婦の身を守る・院内感染の予防・不潔だと思うからという順で多く、患者では院内感染の予防・看護婦の身を守る・患者の身を守るという順で多かった (表1, 2)。
- 6) 看護婦の手袋使用は必要かということについて、患者・看護婦とも必要でないとする人はいなかった (図8)。
- 7) 看護婦が患者に不快を与えると考え、手袋を使用しなかったことがあると答えた割合は82%と高く、清拭・足浴・配膳の際にという意見が聞かれた (図9)。

### 4. 考察

今回の調査で、患者と看護婦の手袋使用に関する意識の違いに大差はなかった。このことから看護婦は手袋使用に関し、現時点で大きく意識を変える必要はないと考える。看護婦は手袋の必要性を最優先し、使用の可否を考えるべきである。しかし、看護婦が患者に不快を与えると考え、使用を控えたとされる清拭・足浴や、手袋を必要としないケアの際にも手袋の使用を希望する患者がいた。これは患者の意識の相違であり、個別性であると考えられる。

また、患者が手袋の使用を希望する処置は、排尿処理・浣腸・陰部ケアといった、手袋がなければ陰部もしくは排泄物に直接接触する可能性のある処置に多かった。これは直接接触することで感染のリスクが高くなる陰部や排泄物を不潔と感じ、その感染のリスクから患者・看護婦両者を守るという目的を手袋に求めているのではないだろうか。

また逆に、患者が手袋の使用を希望しない処置は、検温・ひげ剃り・洗髪といった上半身に触れたり、看護婦の手が患者の目につきやすい処置に多くあった。これは、それらの処置では陰部や排泄物に触れることがないため不潔でなく、どちらかといえば陰部や排泄物に触れる処置の際に使用することの多い手袋の着用を不潔と感じ、不快と感じるのではないかと考える。

調査の結果、患者・看護婦ともに手袋使用は必要であるという認識が大半を占め、必要でないという意見はなかった。これは佐々木らも述べている「医療用手袋は感染防御において重要な役割を担っており、看護職から患者への直接の感染防止、院内感染の防止、および患者の持

つ病原微生物の看護職への感染を防ぐために用いられる」という手袋の役割を、患者・看護婦ともに理解しているからだと思われる。

以上のことより、当病棟では

- ① 手袋の使用は基本的には必要時のみとする。
  - ② 手袋使用が必要な患者や処置を統一する。
  - ③ 患者が手袋の使用を希望しないケアの際に使用するときには患者の気持ちに配慮し、声をかけるなどの気遣いをする。
- という方針を統一して実施して行きたいと考える。

## 5. まとめ

- 1) 患者と看護婦の手袋使用に関する意識の違いに大差はなかった。
- 2) 患者は手袋の使用を上半身のケアでは希望せず、陰部のケアでは希望することが高率であった。
- 3) 看護婦は陰部や汚物に触れる処置において、自己や他者への感染予防のために手袋を使用していた。
- 4) 患者・看護婦ともに手袋を使用することは必要であると認識していた。

## 引用文献

- 1) 佐々木美奈子：医療用手袋の役割と限界，看護研究，32（4），313－320，1999.

## 参考文献

- 2) 洪愛子：院内感染対策を見直そう，看護技術，47（4），17－24，2001.
- 3) 川島みどり：〈インタビュー〉私の考える清潔ケア，看護技術，47（1），11－16，2001.
- 4) 伊藤美和子：感染防御，看護技術，44（2），138－142，1998.

**使、捨て手袋使用に関する意識調査のお願い**

私達はA棟の感染対策の推進スタッフです。このたびは手袋使用に関する意識調査への記入をお願いします。  
この調査は手袋を使用する看護職と使用される患者さんの意識を明確にすることを目的としています。それを基に今後の手袋使用に関する患者さんへの関わりを生かしていきたいと考えています。  
この調査は目的外に使用することはありません。調査は匿名です。  
ぜひご協力をお願いします。ご協力いただかなくても不利益を生じることはありません。調査について不明な点があれば西原、石塚までご連絡ください。記入後の調査票は事前にご用意した返信用封筒に入れてください。後日回収します。ご協力をお願いします。

平成13年9月3日  
六階特別室 看護部 西原由里 石塚崇 澗州博代 吉村明子  
看護部長 岡本千鶴子

1. 下記ご自身の処置を行う際、手袋を使用したことがありますか。手袋使用の有無と頻度についてあてはまる番号を下記より記入してください。

①使用したことがない	④よく使用する
②ほとんど使用したことがない	⑤頻りに使用する
③時々使用する	

3. 今までに、患者さんで不快な感情を与えたい、手袋を使用しなかったことがあられる方に置きまして、それはどういった処置ですか。

4. 看護職が使用する手袋は何をイメージしますか。あてはまるものを全てに丸印をつけてください。

①清潔 ②不潔 ③衛生 ④看護 ⑤防菌 ⑥予防 ⑦その他( )

5. 看護職が使用する手袋は色はどのようなイメージがありますか。あてはまる番号全てに丸印をつけてください。

①透明 ②白 ③黄色 ④緑 ⑤茶色 ⑥その他( )

6. 手袋の色により患者さんにおける「看護職が手袋を使用すること」のイメージは変わりますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①変わる ②変わらない ③分からない

7. 看護職が手袋を使用する事は主にどんな目的があると考えますか。

( )

8. 看護職が手袋を使用する事は必要であると考えますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①必要 ②必要でない ③どちらとも言えない

9. 手袋を使用しひとつの処置を行った後で、その前後手袋を外していますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①はい ②いいえ ③どちらとも言えない

10. 手袋使用についてのご意見を自由に記入してください。

( )

御協力ありがとうございました

2. 手袋を使用する理由と使用しない時の理由をそれぞれあてはまるものを全てを下記の中から選んでください。

使用する時 ( )	その他の ( )
①患者の身を守るため	②精こ考えたことがない
②患者さんの身を守るため	③動作しやれから
③感染予防のため	④動作しにくいから
④使用する事が習慣で	⑤不潔だと思うから
⑤はする事の習慣で	⑥不潔だと思うから
⑥使用する事の習慣で	⑦必要だと思うから
⑦はする事の習慣で	⑧使用する事を忘れる
	⑨患者さんもつけて欲しいと思うから

図1 アンケート用紙(看護婦用)

**使、捨て手袋使用に関する意識調査のお願い**

私達はA棟の感染対策の推進スタッフです。このたびは手袋使用に関する意識調査への記入をお願いします。  
この調査は手袋を使用する看護職と使用される患者さんの意識を明確にすることを目的としています。それを基に今後の手袋使用に関する患者さんへの関わりを生かしていきたいと考えています。  
この調査は目的外に使用することはありません。調査は匿名です。  
ぜひご協力をお願いします。ご協力いただかなくても不利益を生じることはありません。調査について不明な点があれば西原、石塚までご連絡ください。記入後の調査票は事前にご用意した返信用封筒に入れてください。後日回収します。ご協力をお願いします。

平成13年9月3日  
六階特別室 看護部 西原由里 石塚崇 澗州博代 吉村明子  
看護部長 岡本千鶴子

1. 看護婦が使用する手袋は何をイメージしますか。あてはまるものを全てに丸印をつけてください。

①清潔 ②不潔 ③衛生 ④看護 ⑤防菌 ⑥予防 ⑦その他 ( )

2. 看護婦が次の行為を行う時、手袋使用に当たってどの様子に思いますか。あてはまる番号を下から選んで左側の ( ) に記入してください。また、それらの行為を行うときに看護婦が手袋を使用しているのを見たとすれば○を、見たことがなければ×を右側の ( ) に記入してください。

①使用して欲しい	○見たことがある
②使用して欲しい	×見たことがない
③どちらでもよい	

3. 看護職が手袋を使用する時の理由と使用しない時の理由がどの様子か。下記からあてはまるものを全てで選んでください。

使用する時 ( )	使用しない時 ( )
①患者の身を守るため	②精こ考えたことがない
②患者さんの身を守るため	③動作しやれから
③感染予防のため	④動作しにくいから
④使用する事が習慣で	⑤不潔だと思うから
⑤はする事の習慣で	⑥不潔だと思うから
⑥使用する事の習慣で	⑦必要だと思うから
⑦はする事の習慣で	⑧使用する事を忘れる
	⑨患者さんもつけて欲しいと思うから

4. 看護職が使用する手袋の色はどのようなイメージがありますか。あてはまる番号全てに丸印をつけてください。

①透明 ②白 ③黄色 ④緑 ⑤茶色 ⑥その他( )

5. 手袋の色により「看護職が手袋を使用すること」のイメージは変わりますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①変わる ②変わらない ③分からない

6. 看護職が手袋を使用する事は必要であると考えますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①必要 ②必要でない ③どちらとも言えない

7. 感染対策が手袋を使用しひとつの処置を行った後で、その前後手袋を外していますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①はい ②いいえ ③どちらとも言えない

御協力ありがとうございました

1. 看護婦が使用する手袋は何をイメージしますか。あてはまるものを全てに丸印をつけてください。

①清潔 ②不潔 ③衛生 ④看護 ⑤防菌 ⑥予防 ⑦その他 ( )

2. 看護婦が次の行為を行う時、手袋使用に当たってどの様子に思いますか。あてはまる番号を下から選んで左側の ( ) に記入してください。また、それらの行為を行うときに看護婦が手袋を使用しているのを見たとすれば○を、見たことがなければ×を右側の ( ) に記入してください。

①使用して欲しい	○見たことがある
②使用して欲しい	×見たことがない
③どちらでもよい	

3. 看護職が手袋を使用する時の理由と使用しない時の理由がどの様子か。下記からあてはまるものを全てで選んでください。

使用する時 ( )	使用しない時 ( )
①患者の身を守るため	②精こ考えたことがない
②患者さんの身を守るため	③動作しやれから
③感染予防のため	④動作しにくいから
④使用する事が習慣で	⑤不潔だと思うから
⑤はする事の習慣で	⑥不潔だと思うから
⑥使用する事の習慣で	⑦必要だと思うから
⑦はする事の習慣で	⑧使用する事を忘れる
	⑨患者さんもつけて欲しいと思うから

4. 看護職が使用する手袋の色はどのようなイメージがありますか。あてはまる番号全てに丸印をつけてください。

①透明 ②白 ③黄色 ④緑 ⑤茶色 ⑥その他( )

5. 手袋の色により「看護職が手袋を使用すること」のイメージは変わりますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①変わる ②変わらない ③分からない

6. 看護職が手袋を使用する事は必要であると考えますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①必要 ②必要でない ③どちらとも言えない

7. 感染対策が手袋を使用しひとつの処置を行った後で、その前後手袋を外していますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①はい ②いいえ ③どちらとも言えない

御協力ありがとうございました

1. 看護婦が使用する手袋は何をイメージしますか。あてはまるものを全てに丸印をつけてください。

①清潔 ②不潔 ③衛生 ④看護 ⑤防菌 ⑥予防 ⑦その他 ( )

2. 看護婦が次の行為を行う時、手袋使用に当たってどの様子に思いますか。あてはまる番号を下から選んで左側の ( ) に記入してください。また、それらの行為を行うときに看護婦が手袋を使用しているのを見たとすれば○を、見たことがなければ×を右側の ( ) に記入してください。

①使用して欲しい	○見たことがある
②使用して欲しい	×見たことがない
③どちらでもよい	

3. 看護職が手袋を使用する時の理由と使用しない時の理由がどの様子か。下記からあてはまるものを全てで選んでください。

使用する時 ( )	使用しない時 ( )
①患者の身を守るため	②精こ考えたことがない
②患者さんの身を守るため	③動作しやれから
③感染予防のため	④動作しにくいから
④使用する事が習慣で	⑤不潔だと思うから
⑤はする事の習慣で	⑥不潔だと思うから
⑥使用する事の習慣で	⑦必要だと思うから
⑦はする事の習慣で	⑧使用する事を忘れる
	⑨患者さんもつけて欲しいと思うから

4. 看護職が使用する手袋の色はどのようなイメージがありますか。あてはまる番号全てに丸印をつけてください。

①透明 ②白 ③黄色 ④緑 ⑤茶色 ⑥その他( )

5. 手袋の色により「看護職が手袋を使用すること」のイメージは変わりますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①変わる ②変わらない ③分からない

6. 看護職が手袋を使用する事は必要であると考えますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①必要 ②必要でない ③どちらとも言えない

7. 感染対策が手袋を使用しひとつの処置を行った後で、その前後手袋を外していますか。あてはまる番号1つに丸印をつけてください。

①はい ②いいえ ③どちらとも言えない

御協力ありがとうございました

図2 アンケート用紙(患者用)

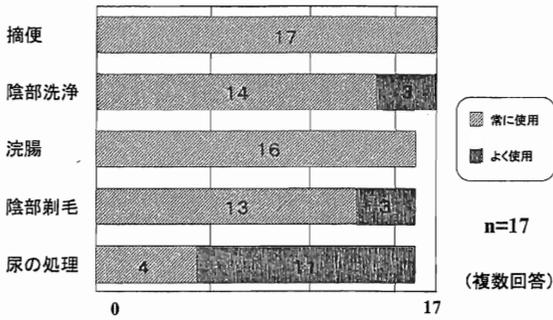


図3 看護婦が手袋を使用する処置

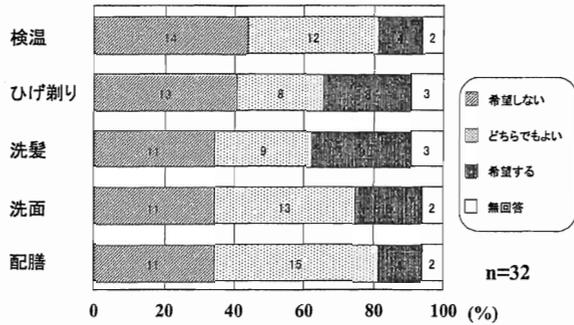


図4 患者が手袋使用を希望しない上位項目

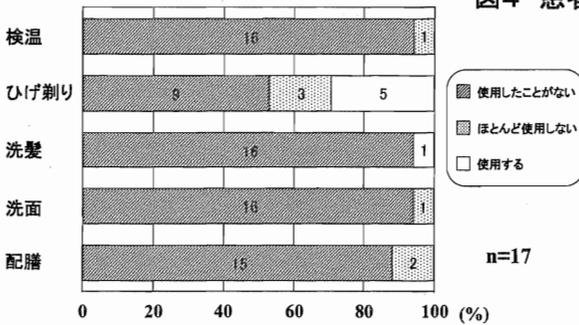


図5 看護婦の手袋使用状況(患者が希望しない時)

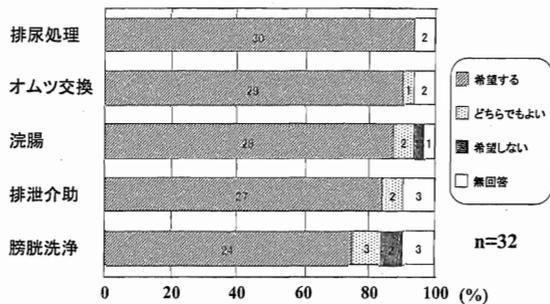


図6 患者が手袋使用を希望する上位項目

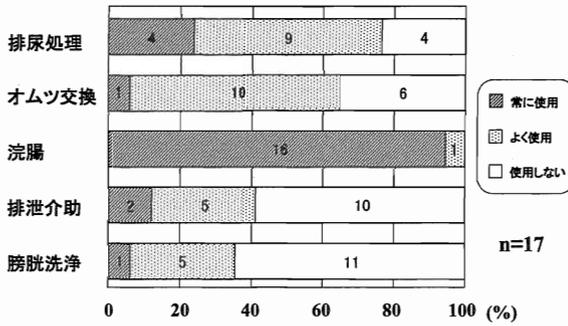


図7 看護婦の手袋使用状況(患者が希望する時)

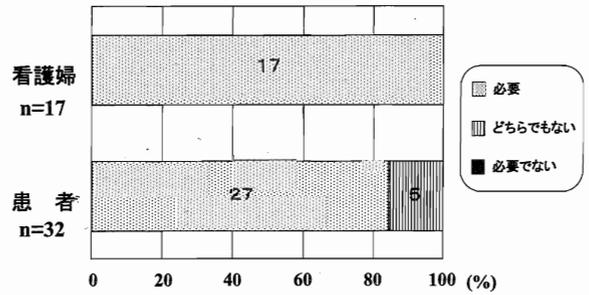


図8 看護婦の手袋使用は必要か

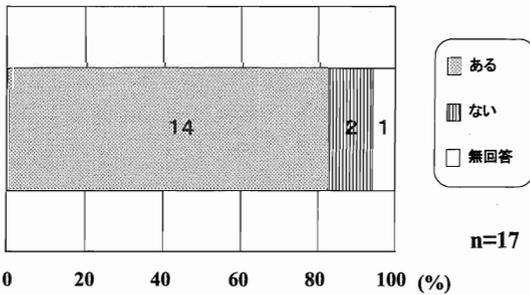


図9 患者に不快を与えたと考え手袋をしなかったことがあるか(看護婦)

表1 手袋を使用する理由(看護婦)

理由	人数	割合(%)
看護婦の身を守る	17	100
院内感染の予防	16	94
不潔だと思うから	13	76
患者の身を守る	9	53
使用することが習慣	9	53
患者も希望している	4	24

表2 手袋を使用する理由(患者)

理由	人数	割合(%)
院内感染の予防	27	84
看護婦の身を守る	26	81
患者の身を守る	26	81
不潔だと思うから	9	28
使用することが習慣	7	22
患者が不快だから	3	16